

## 2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 1 月 20 日作成)

小委員会名	海洋建築津波等防災小委員会		主 査 名：桜井慎一 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	海洋建築委員会		委員長名：藤田謙一
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2022 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>津波や豪雨による災害時に、高齢者や身障者といった災害弱者を救う手段として、水上に浮上することで人命を救う避難シェルターの開発が期待される。当小委員会では、国内で既に製造されている製品の事例調査、設計や製造に関わる安全基準や法制度の調査を通じて、避難シェルターの適切な材料、サイズ、形状、性能、係留方法、装備品などを提案できる知見を整理する。</p> <p>初年度：インターネットの情報を検索することで、調査対象とすべき開発事例等を選定し、また、関連する安全基準や法制度について情報を収集する。</p> <p>2 年度：個々の事例について、製造元へのヒアリング調査やデータ収集を行い、各事例の詳細なスペックや安全対策などを整理する。また、関連する安全基準や法制度を精査し事例を評価するための指標や基準を検討する。</p> <p>3 年度：収集した個々の事例の評価結果に基づき、避難シェルターの適切な材料、サイズ、形状、性能、係留方法、装備品などを提案できる知見を整理する。</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：有</p> <p>主査：桜井慎一 (日本大学) 幹事：寺口敬秀 (日本大学) 委員：相田康洋 (日本大学), 大塚文和 (日本大学), 河田新一郎 (河田建築設計事務所), 小林昭男 (日本大学), 藤田謙一 (長崎総合科学大学), 増田光一 (日本大学), 松井徹哉 (名古屋産業科学研究所)</p>		
設置 WG	設置無し		
2020 年度予算	170,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：なし	

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	なし
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. web 等を用い津波避難シェルターの設置場所を調査したが、新型コロナウイルスの影響もあって十分な調査が実施できていないため、2021 年度に向けて引き続き計画に沿った活動を行う予定である。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 特に大きな問題は生じていない。